

interview

佐藤達哉

秋田工場



2021年に入社し、現在は秋田工場に勤務している佐藤達哉さん。運転手として採用された後、工場内勤務となりました。秋田工場にて業務の効率化を積極的に図っている佐藤さんに、これまでの経験と今後の目標について伺いました。

入社までの経緯を教えてください。

18歳で地元の金融機関に就職し、10年目に転職して保険会社に勤め、その後保険を扱っている代理店に移籍しました。その代理店では事務員が不足しており、平日は事務員、土日は保険の営業という勤務形態。勤務場所も自宅から車で1時間以上と遠方だったため、1年ほどで転職を考えました。

保険は大変狭い業界でもあり、異業種へ転職しようと決意。8t限定中型免許を取得していたため、当時運転手の募集をしていた藤工業株式会社に応募しました。勤務場所が家から近く、家族と過ごす時間を増やせる点が決め手でした。

運転手から工場内勤務になった経緯をお聞かせください。

社長と工場長補佐との面談で打診されました。急転直下な話で、はじめはとても戸惑いましたね。運転手としてのやりがいもあって、もっとチャレンジしていきたいと思っていましたから。

運転手のころは、配達がないときに工場で補助的な作業も行っていました。私の取り組み方を工場長補佐が見ていて、「佐藤さんが適任ではないか」ということで声がかかったのだと、後日談で知りました。

工場内勤務において意識している点は何ですか。

工夫しながら良くしていこうと常に意識しています。特に物を作っていく中で、会社や個人、チームのキャパシティを超えそうな場面が出てきます

が、それでもいかに良いものを安く、納期に間に合うように、残業しないようにできるかを考えています。

金融機関で働いていた際、営業には毎月ノルマがありました。ノルマを達成するにはどうすべきかを当然考えなければなりません。効率を考え、取り組み方を変え、一人でやるべきか、皆さんで行う方が良いのか、など、さまざまな方法を考え実践しました。そのときの経験が、今の土台にあるのだと思います。



効率化で得られるメリットは何ですか。

表現は良くないかも知れませんが、「楽に仕事をする」ことだと思います。「楽」とは効率の意味で、効率良く進めると、仕事は難しくなりません。一人よりも、手の空いている人を借りてチームで行う方が、仕事は楽になりますよね。こうした意識を皆さんが持てばより良くなると考え、自分より後に入社した人には「楽に仕事をしよう」と伝えるようにしています。若手社員が「先輩に声をかけづらい」と言っているならば、「わからないことを自分で考えて行動するよりも、アドバイスをもらう方が効率は良いから、ためらわずに先輩に声をかけよう」と言います。

効率化が成功したエピソードを教えてください。

運転手のころ、配達する製品を作っていた人は1人でした。営業時間内に荷物の積み込みができず、当然、運転手も残業です。この状況を他の運転手には経験してほしいと思い、1人で行っている作業を2人で行うのはどうかと考えました。2人で行うには、もう1人にこの作業に加わるための時間を作ってもらわなければいけない。ではどう仕事を進めればその時間が作れるのか、と思案して、サポートを依頼しました。「自分の業務ではないことを、なぜやらなければいけないのか」と言われましたが、面と向かってしっかり理由を伝え、納得してもらいました。

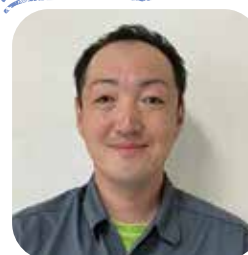
最後に、今後の目標をお聞かせください。

今は、物を曲げる加工をしています。機械を操作して物を作っている人や、溶接している人もいます。そうした作業を含めて、工場内の業務を一通りできるようになり、工場を任せてもらえる役職に就きたい。その上のポジションもあるのならば、チャレンジしていきたいと思います。

常に問題意識を持ち、改善を重ねてきた佐藤さん。これからも業務の効率化について模索し、挑み続けるに違いありません。目標に向かって躍進し、会社の発展に貢献していくことでしょう。

佐藤さんってどんな人？

巻頭インタビューに登場した佐藤さんの上司である小石さんに、佐藤さんの人柄を伺いました。奥様同士も偶然にも同じ職場で、何かと縁があるお二人です！



秋田工場
工場長補佐
こいし あつし
小石 淳 さん

佐藤さんを一言で表すと？ 仕事熱心な人

佐藤さんは前職で営業のお仕事をされていたときの経験を活かし、お客様目線で働いてくれています。お客様とも工場の社員と話す際の会話の仕方も丁寧で、その対応力や真面目さが流石だなと感じています。

佐藤さんへのメッセージ

これからさらに色々な作業を覚えてもらい、将来的に工場長補佐などの役職について、私のサポートをしてもらいたいと考えています。

佐藤さんの尊敬しているところ

お子さんが4人いて「大変だ」と言いながら、家族を支えているところが素晴らしいと思います。私は子どもに甘々な部分があるのですが、佐藤さんはお子さんに対して、優しくも厳しく接しているようで、そういった面も見習いたいと思います。

藤工業グループ企業を紐解く！

有限会社 誠和鉄筋

藤工業グループの所属会社をご紹介！第2弾は鉄筋のプロフェッショナル、志村グループから有限会社誠和鉄筋です。相馬専務と島部長にお話を伺いました。多様な人材が集まる中、佐々木社長が掲げるある言葉とは？



誠和鉄筋の社員の
ココに注目！

有限会社誠和鉄筋
専務
そうま たけし
相馬 傑さん

有限会社誠和鉄筋
部長
しま
島 サムエルさん

誠和鉄筋について

大型建造物を中心に
鉄筋の組み立て・取り付けを担当

当社は、藤工業グループ傘下の志村グループに所属。マンションや病院などの大型建造物を中心に、鉄筋の組み立てと取り付けを行っています。年齢層は20～60代まで幅広く、外国籍のスタッフも所属。国籍や年齢の垣根なく、日々和気あいあいと仲良く仕事をしています。

誠和鉄筋の強み

鉄筋加工を得意とする志村工業との協業で、鉄筋の加工・運搬・取り付けまでをトータルで考え、より生産性の高い計画を組めることです。工程毎に別会社が担当する場合、ロスタイムが発生しがちですが、当社では一貫して行うことでより効率的な方法を採用できます。また、間違いのない施工をモットーに、ミスをなくすべく、職長の自主検査に加え、番頭による第三者視点での確認を徹底。わかりにくい作業は図解し、理解に差が生じないようにしています。

グループ全体 に向けてメッセージ

これからも藤工業グループの一員として、より良い成果を上げていきます！

誠和鉄筋社員の人柄

多国籍で個性豊か！明るい仲間たち

人間味豊かで気さくな人が多いと感じています。5分の3がフィリピンからの研修生で、お国柄なのか、いつも明るくニコニコしています。5年以上働いて特定技能となった社員は、通訳をはじめ、コミュニケーションのサポートをしてくれて助かっています。堅苦しい職人のイメージはなく、自由さと謙虚さ、そしてそれぞれの個性に溢れています。長くいるメンバーとはプライベートでの交流もあり、気心も知れる仲です。

誠和鉄筋で大切にしていること

何ごとにも「まずやってみよう」の心で！

佐々木社長が大事にしている「まずやってみよう」という言葉を意識しています。気心の知れたメンバーがいる中、先頭を切ってそれを体現してきた社長の言葉を聞くと、「やってみよう」と素直に思うことができます。社長は社員みんなとのコミュニケーションを取るのがとてもお上手です。社長を見習い、仕事だけでなくプライベートでもコミュニケーションを取る時間を作りたいと思います。



やりがいエピソード

「自分の仕事が誰かの役に立っている」そう思うだけで、仕事に対するやりがい生まれるもの。自身の仕事にどのようなやりがいを見出しているか、フィン アイ アンさんに伺いました。皆さんにも通ずるものがあるかもしれません。



積算部
フィン アイ アンさん

最もやりがいを感じた瞬間は……

自分が積算した建物を実際に見たとき

入社1年目の2023年11月に、入社後初めて部長に案内されて、皆が計算した建物を見学する機会がありました。これまでの仕事はすべて書類上で行われていたので、実際に建物を見るのは初めてで、とても嬉しくて好奇心が湧きました。自分の計算が正しいかどうか少し心配もありましたが、最終的にはすべてが順調に進み、建物も無事に完成しました。このような機会を与えてくれた会社と部長にとっても感謝しています。

学んだこと

基礎や鉄筋の接続方法、各鉄筋の用途について、多くのことを学びました。

今後の注力ポイント

建物をつくるためには多くの段階を経る必要がありますが、その中でも計算の工程は最も重要です。お客様に満足・安心していただくために、私は慎重に計算し、深く考えることでミスを減らし、お客様が最もスムーズに施工できるように積算します。

読書の秋！

あなたのおすすめの

作品

ようやく秋も深まってきました。秋といえば、読書の秋！
この季節におすすめの本を2名の方に紹介してもらいました！

『はじめての利他学』

若松英輔 著



取締役
みやた こういち
宮田 幸一さん

この本を読むまで、「利他」というと「人のため」というイメージしかありませんでした。自分を犠牲にして人のために行動しなければならないのは、「何か納得がいけない」という思いを持っていたのです。しかし、この本の冒頭に「自利利他」という言葉が出てきて、『利他』は『自利』と切っても切れない関係にあり、『自利』こそが『利他』の土壌である」と書かれていました。目からウロコな思いと、読みやすい文章が相まって、その言葉に引き込まれ、一気に読んでしまったことを覚えています。なかなか手に取りやすい本でしたので、おすすめです。

『やる気1%レンジごはん』

ハマごはん 著



第4工場 積算
ちば みゆきさん
千葉 みゆきさん

料理のレシピ本です。一人暮らしを始めた娘に選んだ1冊でした。料理本の多くは、上手に、美味しくなど前向きに書かれています。しかし、こちらの本はやる気1%で一皿を完成させることに特化しており、本当に簡潔に書かれています。お弁当のあと一品、酒のあての一品など、レンジにぶち込めば何とか形になります。

今号から社内報『澄和』に登場するよ！毎号どこに隠れているか探してみよう！
当社マスコットキャラクター：ふじ丸くん



「乙女の真心」「調和」「謙虚」などの花言葉がある花は？
正解は次号をお楽しみに！